

Genome Damage Network Workshop 2019 ～京都～

発表は30分、質疑応答は30分で、計60分の発表になります。

発表の途中でも質疑応答が行われます。

3月11日（月）

12:00-12:50 受付

12:50-13:00 **Opening remarks by** 柴田淳史（群馬大学）

13:00-14:00 夏目豊彰（国立遺伝学研究所）

「ゲノム安定性維持におけるヒト SMC5/6 複合体のユニークな役割を探る」

14:00-15:00 林真理（京都大学）

「染色体融合可視化システムを用いた姉妹染色分体融合運命のベイズ解析」

休憩 30分

15:30-16:30 上川泰直（基礎生物学研究所）

「多能性幹細胞における複製フォーク動態を介したゲノム恒常性の維持」

16:30-17:30 香川晴信（京都大学）

「OVOL1 は iPS 細胞初期化過程における中間体の細胞運命決定と増殖を制御する」

17:30-17:50 オープンディスカッション

（演者の方々、参加者とフリーディスカッション）

*セミナー室は11:00-18:00が利用可能時間です。

3月12日(火)

9:20-10:20 柴田淳史(群馬大学)

「G0/G1 静止期細胞における遺伝子領域の DNA 二本鎖切断修復機構」

10:20-11:20 山内基弘(長崎大学)

「スプライシング因子の DNA 二本鎖切断修復における役割」

11:20-12:20 西良太郎(立命館大学)

「DNA 二本鎖切断修復と核内構造体のクロストークの解明」

12:20-12:40 オープンディスカッション

(演者の方々、参加者とフリーディスカッション)

12:40-12:50 Closing remarks by 柴田

*セミナー室は9:00-13:00が利用可能時間です。